

福岡教育大学生協 医療従事者のための募金活動

第041号
(通算474号)



[店舗]

取り組み概要

日時：2021年7月26日(月)～12月23日(水)

場所：ステラ・リモネ・フィオーレ

(店舗・食堂)

参加者数や組合員の反応：多くの組合員
が参加し、1万円以上が集まった。

- 背景や概要：新型コロナウイルスへの対応で日々
- 奮闘されている医療従事者の方々に感謝の想いを
- 伝えるために、生協の各店舗と食堂に5つの募金箱
- を設置してSNSなどで広報を行い、寄付を募った。

日々戦う医療従事者の方々に感謝を伝える

POINT.1

今、自分たちにできることを！

医療従事者への感謝を込めて
募金活動にご協力ください！

期間：7月26日(月)～9月末(水)

場所：ステラ・リモネ・フィオーレにて募金箱を設置

※募金活動は、福岡県でのコロナ感染拡大防止に尽力する医療従事者、介護従事者、福祉従事者など、新型コロナウイルス感染症の対応に尽力されている方々に感謝の気持ちを込めて実施いたします。募金活動の収益は、新型コロナウイルス感染症の対応に尽力されている方々に寄付いたします。

集まったお金はすべて福岡県が実施する「福岡県新型コロナウイルス医療従事者応援金」へ寄付します。



企画を行う前、福岡県は新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向にあり、度重なる緊急事態宣言の発令などで**組合員の生活には様々な制限**がかかっていました。その学内でも感染者が出てしまい、不安な状況が続きました。しかしそんな状況下でも懸命に戦い続けている**医療従事者の方々に感謝を伝え、応援**することで少しでも力になろうと思いついた学生委員会のメンバーが**自分たちに今できることを考えた結果**、募金活動という形で取り組みが始まりました。

POINT.2

非接触で誰でも安全に、気軽に！

感染対策の観点から学内での活動にも制限がかかり、人を集めて開催する企画という形での取り組みを実施することは難しい状況でした。しかし、**店舗や食堂に募金箱を常設**し、学生委員会の強みであるSNSを活用しながら組合員に広く寄付を呼び掛けるという形をとることで人と人との**接触や3密を避け**たうえで**気軽に**取り組みに参加できるようになっていました！



POINT.3

多くの人の想いが集結！



実施期間は2021年の7月末から12月までの半年間で、学内の生協店舗や食堂に合わせて**5つの募金箱**を設置しました。募金の実施期間中は夏休みや新型コロナウイルスの影響で来客数が減っていたにも関わらず、**1万円以上の募金**が集まりました！ここで集められたお金は宗像市のコロナ対策窓口に入金し、医療従事者の方々に届けられます。大変な状況下でも**誰かを思いやる気持ちやたすけあいの想い**が大学生協と学生委員会を中心として広がっていました！

つながる元気、ときめきキャンパス。



ご質問や[QBK NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [進藤 景太]
Shindo.Keita@univ.coop